

● Vision Studio (画像処理ツール・アルゴリズム開発・調整プラットフォーム)

Vision Development Excellence

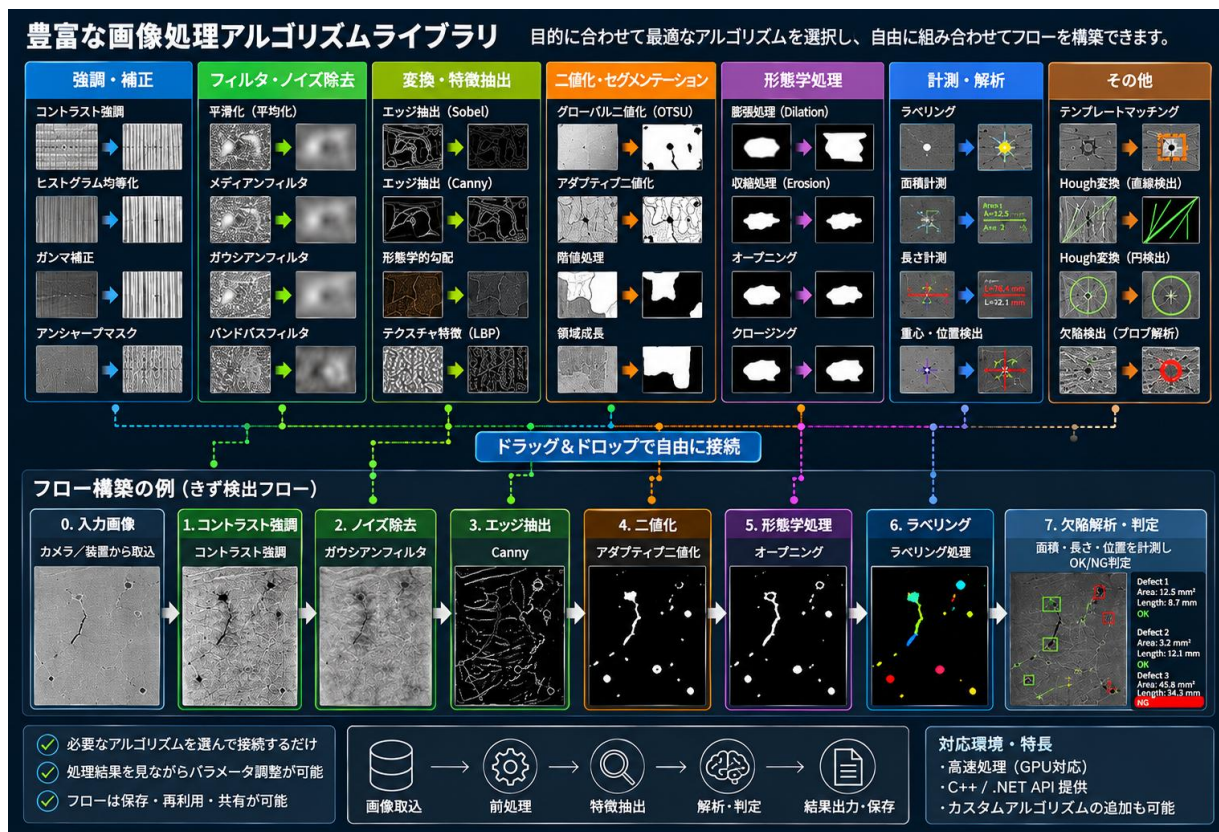
開発

検証

調整

アルゴリズム開発・調整を、1つのフローに開発します。

前処理・位置決め・検出を組み合わせ、パラメータを調整し確定したレシピを AI InspeX or AI ScanXの検査ソフトへ渡し、量産検査で利用できます。



開発モジュール

① 前処理

正規化・フィルタ・照明補正。判定の前に、画像を安定した状態にする。

② 位置決め

ワークがずれても、検査位置を安定して合わせる。

③ 検出・計測

欠陥・模様・寸法。ルールで説明できる検査ロジックを組み立てる。

④ 調整・バッチ

パラメータを変えながら一括実行。中間画像を確定。出力し、AI InspeX or AI ScanXへ量産検査。

お問い合わせ 無償ワークテスト・デモのご相談

本社 〒183-0013 東京都府中市小柳町3-9-28

調布ラボ 〒182-0026 東京都調布市小島町1-1-1 電通大 UECアライアンスセンター 405

www.mitech.jp

Mail: sales.engineering@mitech.jp



ベトナムでの問い合わせ

MITECH TECHNOLOGY INVESTMENT COMPANY LIMITED
15F, Block A, Song Da Building, Pham Hung Street, Tu Liem, Hanoi
www.hn.mitech.jp

● アルゴリズム開発

処理プロセスを処理順に従って、検査アルゴリズムを組み立てます。

検査で使用する大半の処理アルゴリズムは標準で提供されています。

- ・ 前処理：正規化・各種フィルタ等
- ・ 位置決め：エッジ・追従
- ・ 検出：欠陥・模様・寸法

等 豊富な各種機能を提供！

処理プロセスの順序やパラメータを簡単に、かつ直感的に操作できるので、試行錯誤が容易で、素早く検査アルゴリズムが開発できます。

プロジェクトごとに処理フローとパラメータを保存。切替はリストから選択。

処理アルゴリズムの選択

強調・補正

☒ コントラスト強調

☒ ヒストグラム均等化

☐ ガンマ補正

フィルタ・ノイズ除去

☒ ガウシアンフィルタ

☒ メディアンフィルタ

☐ バンドパスフィルタ

エッジ・特徴抽出

☒ Sobelエッジ

☐ Cannyエッジ

☐ 形態学的勾配

二値化・セグメンテーション

☒ OTSU二値化

☐ アダプティブ二値化

☐ 領域成長

形態学処理

☐ 膨張 (Dilation)

☐ 収縮 (Erosion)

☐ オープニング

☐ クロージング

計測・解析

☒ ラベリング

☒ 面積計測

☐ 長さ計測

実行設定

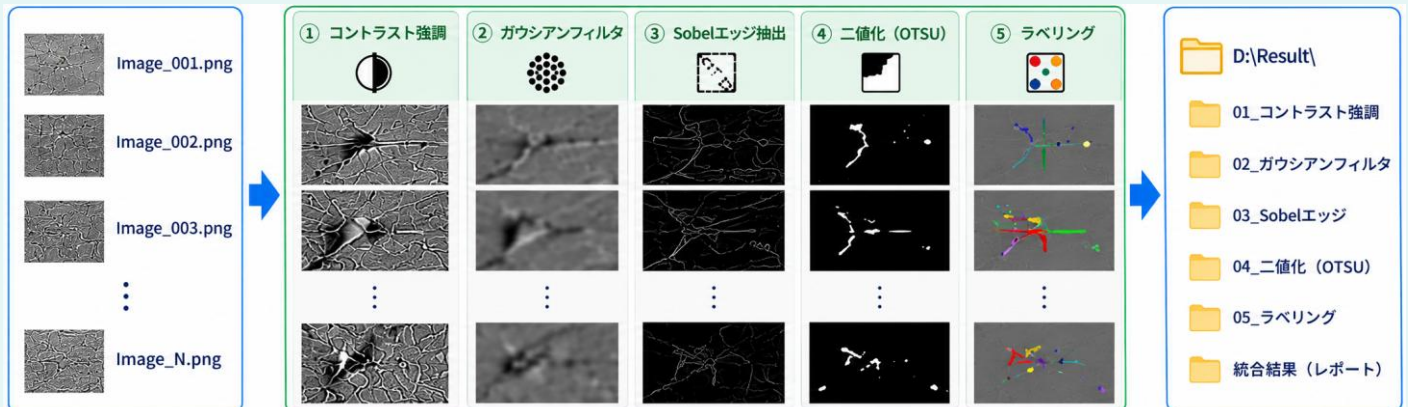
並列処理: 保存形式: 出力先フォルダ:

※ルールベースで説明できる検査を、素早く試行錯誤し、試作段階で処理アルゴリズムを固めることができます。

● 調整

- ✓ 実機への搭載前にパラメータを検証・調整することができます。
- ✓ 量産前に、判定が不安定になる条件を確認したり、調整することが簡単に行えます。

実行 1枚ずつ・フォルダ一括
 観察 中間画像を確認
 比較 閾値違いを並べる
 確定 レシピを AI InspeX へ



処理の途中結果をビジュアルに確認できるので、開発が素早く行えます。

主な仕様

製品名 Vision Studio (Vision Development Excellence)

用途 画像処理ツール、アルゴリズムの開発・調整

前処理 正規化 / フィルタ / 照明補正

処理 位置決め / 欠陥検出 / 模様検査 / 計測

調整 単枚実行、フォルダ・バッチ、パラメータ比較

出力 モデル出力: AI InspeX or AI ScanXで利用

言語 日本語・英語・ベトナム語

OS・モード Windows11、開発モード

※仕様は構成・カメラ・ライセンスにより異なります。詳細はお問い合わせください。